

活動及び生活に関する制限について

熊本県立豊野少年自然の家

	活動・場所	感染症対策・三密対応策	
活動	オリエンテーリング ・スコアオリエンテーリング ・コンパスゲーム ・ツリーハンティング	筆記用具、バインダーまたは探検バッグは 持参のものを使用	
	ネイチャーゲーム ・もりもりビンゴ ・カモフラージュ		
	野外炊飯	学校関係 : 調理工程をなくしたメニュー 一般団体 : 調理工程をなくしたメニュー 家族単位 : ※ <u>野外炊飯全般を認める</u> 複数家族グループ : 調理工程をなくしたメニュー ※食器類の貸し出し無し	
	その他	レクリエーション ・SDレクリエーション	とよリンピック・昔遊びリンピック・レクリンピック 3種の代替レクリエーション
		朝のつどい 夕べのつどい	3密回避のため現在つどいは停止中 必要に応じて、班長と連絡会など
利用中の生活	受入制限	定員の50% (100人程度)	
	入所・退所 手続き	入所・受付	分けて(玄関と昇降口)、間隔をあけて 玄関、昇降口に消毒液の設置
		入所式	オリエンテーションのみ 原則、事前学習 (YouTubeにて公開中)
		各部屋への誘導	時間差対応
		退所式	見送りのみさせていただきます。
	研修場所	プレイホール	原則、常時換気
		研修室	冷暖房使用時期でも30分ごとの換気
	食堂	定員	60人まで (それ以上は2交代)
		環境	出入口は開けたまま使用
		入室	間隔を2m以上空けて入室
			入り口での消毒、食堂内の手洗い場の使用禁止
		配膳・提供方法	1人ずつの配膳 (2m間隔を空けて) 引率者: お盆・お皿の配布、ご飯の配膳 (各1名ずつ)
		食事中	ジグザグでの着席、黙食
		食器等回収方法	班ごとで返却
	入浴	定員	10人程度
		換気	団体内での時間差対応、団体間での換気の時間の確保
	宿泊室	定員	4人 (畳に1人で5人まで対応可)、リーダー室は最大2人
		寝具	1・2ベッドでローテーションでの使用
		2方向換気、ドアの開放	ベランダ側上部の小窓を開けておく
	共有 スペース	洗面所	常時換気、時間差対応、使用個数の制限 消毒液設置
トイレ			常時換気、消毒液設置 使用后、蓋を閉めて流すことの徹底
冷水器		使用禁止	
保健室		原則、使用禁止 (空き部屋の使用を勧める)	
エレベーター		配慮が必要な方のみ使用可	
車椅子			

【野外炊飯の実施状況】

野外炊飯が可能な場所	炊飯棟 2棟 かまど 16・流し台 16×2棟 ピロティ かまどなし（移動用クド使用）・流し台 2
利用可能な人数	通常時 炊飯棟 1棟約 50人×2棟 ※学校等の大人数の場合は最大 200人で実施あり ピロティ約 50人 制限時 炊飯棟 1棟 20～30人×2棟 ピロティ 20～30人

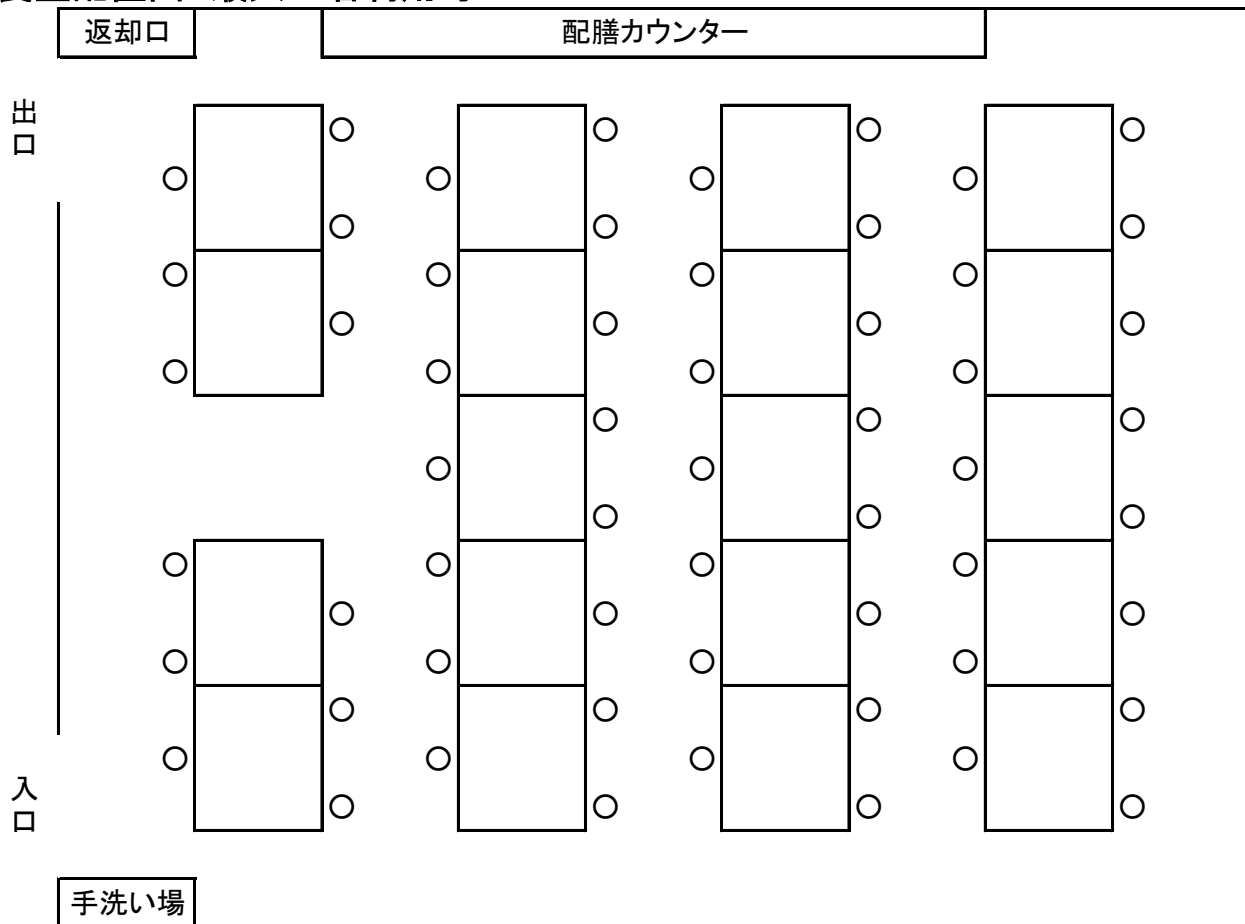
《団体種別ごとの制限》

団体の種類	学校関係： 調理工程をなくしたメニューのみ。食器類貸し出しなし。 一般団体： 調理工程をなくしたメニューのみ。食器類貸し出しなし。 家族単体： <u>※野外炊飯全般を認める。</u> 食器類貸し出しなし。 複数家族のグループ： 調理工程をなくしたメニューのみ。食器類貸し出しなし。
-------	---

《活動に関する注意事項》

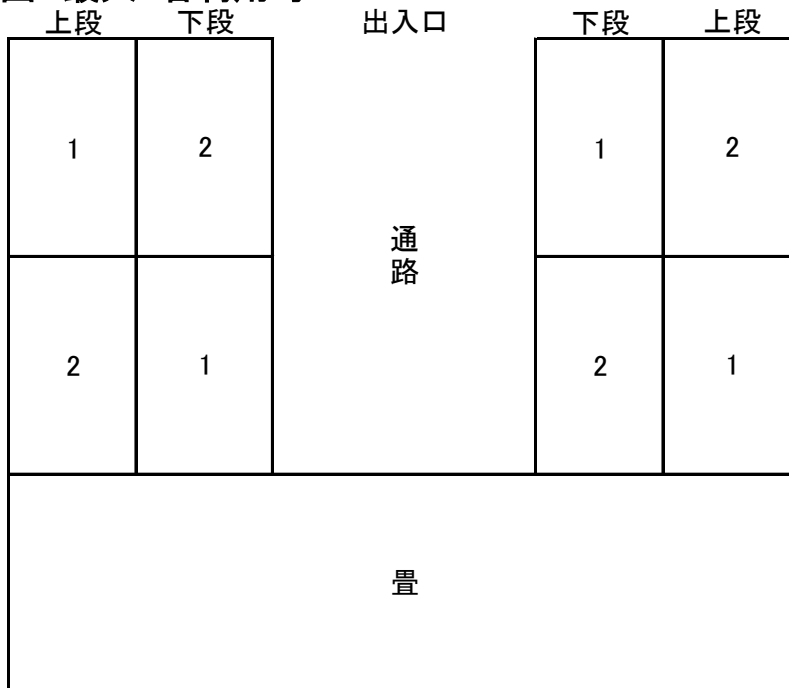
- 1 マスク、ビニール手袋、割り箸・紙皿・紙コップ・スプーン等使い捨てができる物を団体が持参。
- 2 洗剤・スポンジ・たわし・キッチンペーパー・消毒液等の必要品も持参してもらう。
- 3 ゴミは、持ち帰りが基本。 ※団体が産業廃棄物業者に直接依頼する場合もあり。
- 4 炊事場の使用は、原則 1つのかまど・流し台につき 1人ずつとする。
- 5 調理工程をなくすため、レトルト食品とパックご飯を活用する。
※食堂に炊きあがり米の注文も可能（菊池・豊野）
※貸し出し用具： 温め用の鍋、蓋、ざる、取り出し用のトンゴ
- 6 薪や落ち葉を用いた「焼き芋」「焼きマシュマロ」等の実施可能（要相談）

食堂配置図 最大57名利用可



- ※出入口、窓は開けたまま使用する
- ※手洗い場は混雑するため、事前に手洗い・うがいを済ませて入室する
- ※配膳・返却時は混雑を避けるために、人数制限を行う

宿泊室配置図 最大4名利用可



- ※1・2ベッドで分けて使用する
- ※可能な限り、出入口・窓は開けておく(就寝時は要相談)